

サイキッズの **ウラ** 講座として実施している 学習プログラム「ニワトレ」ですが、**2020年度を迎えるにあたり、「何をしているの？」について** あらためてご案内いたします。
下記の内容をご覧ください。 ※一部、リニューアルしている項目もあります。現在受講中の方もご覧ください。

- ▶ **1～3年生限定クラスです。** ※この案内は、新小1～新小3の方のみにご案内しています。
- ▶ **学習時間は16：30～18：30です。**
- ▶ **個別／自立学習型の指導スタイルです。**
- ▶ **弱点を見抜き、それを克服する最適の指導を行います。**
- ▶ **高いレベルを目指す方には、相応の指導を行います。** ※中学受験に向けての準備にも対応します。
- ▶ **読売子ども新聞を用いて、時事に関する授業を行います。**
- ▶ **3年生は、時事を題材にした作文を行います。**
- ▶ **自習室を利用できます。**
- ▶ **市販されていない、学習塾専用の教材を入手することができます。**

そして、さらに

厳しい？

**トレーニングを通じて、学力だけでなく
学習に対する「強いメンタル」を身につけます。**

コース

ニワトレ

ニワトレの案内と
関係ありませんが

教育業界に携わっているからこそ知っている、教育に関する裏話をQ & A方式でまとめました。ご一読ください。

これから記載する内容は、忖度なしで書きます。したがって、少なからず「毒」が混ざっていますので、読了後、不愉快に感じる場合があるかもしれません。予めご了承ください(不愉快を感じたくない方は、読むのを避け、ゴミ箱へ☒してください)。

学習塾に関するQ&A

Q 塾に行くことで成績は上がりますか？

A 塾に行くことで成績は上がりませんが、もう少し丁寧に言うと、「塾に行くことにより、学習時間が増えるので、それによって成績は上がりますが、『行く』という行為そのもので成績が上がることはない」になります。結局、成績が上がるというのは、どれだけ自分が頑張れるかどうかです。

Q 塾は早い学年から通った方が良いですか？

A 「早く通っていたから成績が良い」なんてことはありません。最初こそ差はあるかもしれませんが、結局、受験学年になったとき、途中から入ってきたお子様とほとんど変わらなくなっています。

Q 公立高校進学で小学生から塾に通う必要はありますか？

A 全くありません。行くだけ時間と費用の無駄だと思います。その時間とお金を、お子様の未来のために、別のことに投資した方が良いでしょう。家庭学習をしっかりと行ってください。

Q 自宅学習だけで受験をクリアすることはできますか？

A 中学受験は不可能です。中学受験は受験指導の経験がない方が個人レベルでなんとかできるものではありません。下手をすると家庭崩壊を招きます。相応の学年になったら塾に通った方が良いでしょう。一方、高校受験の場合は可能です。ただし、そのような受験生は小学生の時点から学習に対して意識が高く、日々の家庭学習もしっかりと行っており、塾に通わずとも中1から継続して定期テストの点数や内申点も申し分なく取れています。中3になってから突然できるようになることはありません。

Q 塾にはいつから通った方が良いですか？

A 通い始める時期は自由です。「いつから」という制限はありません。ただし、『通い始めなければならないギリギリのリミット』は存在します。中学受験の場合は小学5年生(正確には小4の2月)、公立高校受験であれば、中3の4月です。この時期以降は、かなり厳しくなります。

Q タブレット学習があれば塾は必要ないのでは？

A はい、必要ありません。遅かれ早かれ、将来的には塾はなくなっていくと思います。ただし、タブレット学習を使いこなすには、学習に対する高い意識と学習習慣を身につけている必要があります。タブレットを与えただけで学力が上がるわけではありません。また、モチベーションを保ち続けるのが大変なので、メンターの存在も必要になると思います。

裏に続く

教科に関する Q&A

Q ○○(←教科名：[例] 算数) が苦手ですがどうすれば良いでしょうか？

A 大変申し訳ございませんが、この質問に対して即答することはできません。なぜなら、苦手となっている原因が判明していないので、適切な案内ができないからです。ケースバイケースですが、私の場合、おおよそ以下の項目を保護者様・お子様からヒアリングした上で対応をしています。

- ・苦手とする教科のどの単元なのか？
 - ・何年生から苦手としているのか？
 - ・家庭学習の時間はどの程度なのか？←学校宿題の時間を除く
 - ・家庭学習を行っている環境はどのような環境なのか？
 - ・家庭学習用の教材を使用している場合、どのような教材を使用しているのか？
 - ・学習塾に通っているかどうか？通っている場合、教えている先生の経験はどれくらいなのか？
 - ・保護者様が教えられている場合、どのような教え方をしているのか？
 - ・学校の授業は聞いているか？または、授業が成立している環境なのか？
 - ・学校の先生との相性は？
 - ・テストで何点をとってほしいのか？
 - ・苦手を克服させようとかしらの対策をとっているか？
 - ・本人の学習に対する意識は、どの程度か？
- (状況に応じて他の項目も追加されます)

苦手を克服するためには、原因を突き止める必要があります。突き止めることができない限り、克服することはできません。

学習に関する Q&A

Q 勉強の習慣がないのですが…(1～3年生の場合)

A 基本的に勉強が好きなお子もいません。また、どんなに「将来のため」などと理想を語っても、社会経験のない子どもたちにとっては机上の空論であり、継続的な効果はありません。勉強の習慣を身につけさせたいのならばプレッシャーをかけること、そして日々のチェックを怠らないことが必要です。

Q 勉強の習慣がないのですが…(4～6年生の場合)

A 1～3年生で勉強の習慣が身につけられていない場合、4年生以降で、ある日突然、自ら進んで家庭学習を始めることはないでしょう。大変残念ですが遅きに失しています。

Q 何とかすることはできませんか？

A 学習塾に行かせ、物理的に学習の時間を増やすことで学習の時間を確保しましょう。集団授業の学習塾では週2回、個別指導であれば週1回程度から…というのがスタンダードのように思えますが、その程度の時間の確保ではなんともなりません。それ以上の受講をしなければ、学力を向上させることはできません。なお、それで家庭学習の習慣が身につくかという点、かなり難しいでしょう。すなわち、家では学習できないため、学力を維持するためにずっと通い続けなければなりません1～3年生でやらなかったことを4年生以降で取り戻そうとすると、相応の労力と費用がかかります。

(補足) とある「まっかっ」がある、4年生以降で家庭学習を始めるようになる場合があるが、恣意的に誘導してはなりません。

Q 家で教えているとイライラしてしまうのですが… どうしたら良いですか？

A 保護者様が家で教えるを辞めてアウトソーシングしましょう。各学年ごとの目安を下に記します。

- ・幼児 保護者様が指導してください。←この時期は、種々な事を見て見ることができるといいます。
- ・小1 保護者様が指導してください。←イライラが始まります。
- ・小2 お子様によってはアウトソーシングしましょう。←あまりにもガミガミせざる、話を聞かなくなってしまう。
- ・小3 お子様によってはアウトソーシングしましょう。←イライラよりも不安の方が大きくなります。
- ・小4以上 アウトソーシングしなければいけません。

保護者様がご家庭で教えるのは、感情や指導技術の観点から考えても限界があります。また、お子様も、第三者からの指導の方が素直に聴ける場合が多いと思います。

Q 時折、すばらしくよくできるお子様を見かけるのですが…何が違うのですか？

A 何もやらずに、そのようになることはありません。お子様の「先天的なもの」というよりも、相応の何かをし続けているからこそ、そのようになっているケースがほとんどです。具体的に何か…と言われれば、数限りなく上げられるのでここでは避けませんが、共通して言えるのは、保護者様の言動に筋が通っている方のお子様は、何事においても良くできる傾向があります。また、幼児期にしっかりとしつけや教育を行ってこられたご家庭にも同様のことが言えます。

Q 習い事の数が多すぎるような気がするのですが…減らすべきでしょうか？

A 習い事の数が多くことについてはメリット・デメリットがあります。メリットは、それだけ多くの経験を積めるということ。成長したときに、意外なところで才能が開花する場合があります。デメリットは、各習い事からの課題(宿題)が多くなりすぎて、「とにかく、とりあえずやっておこう」という行動となってしまい、その結果、全てが中途半端、さらには、なんでもかんでも適当に終わらせてしまう意識が根付くこととなります。減らすかどうかは、最終的には保護者様の判断になりますので、冷静にご検討ください。

Q 子どもが習い事を辞めたい・辞めたくないと言っているのですが、どうすれば良いですか？

A 習い事を受講する・しないの判断は、その習い事に受講する「価値」があるか・ないかです。お子様の意見をきく前に、保護者様がその習い事に対して、どのようにお考えなのかを明確にしておく必要があります。「価値」があるとお考えであれば辞めず、ないとお考えであれば辞めた方が良いでしょう。なお、「子どもが言うことをきかないから、この習い事を辞めさせる」という行為は、一時の感情に走ったものであり、お子様の成長のきっかけを奪いかねません。時間を置き、冷静にご判断ください。

Q 子どもに対する教育を、どのようにしたら良いかわからなくなってきました。

A 各ご家庭の教育方針、環境、お子様の性格、現在の学習状況…その他諸々のことを何も考慮せず、一切の感情を断ち切って機械的に申し上げるならば、「公立高校の進学校へ進む」ことを目標にしてください。現在の日本の社会情勢は、大学名ではなく『高校名』に注目が集まっています。

.....
教育業界に在籍して約20年。様々なご家庭との面談の中で見出した、共通点や傾向を記させていただきました。他にも多数ありますが、それはまた別の機会にご紹介します。そして、これらのエッセンスとノウハウを凝縮した教科学習プログラムの集大成、それが「ニワトレ」です。
.....

学習習慣の定着と向上に必要なのは、お子様のメンターやコーチとなる第三者の存在です。ご家庭での学習に行き詰まっている方、またはこれからに向けて準備が必要だとお考えの方はご覧ください。

■ コースの目的

小学生の間は学習塾に通う必要はありません(私立中受験は別)。その代わりに、必要になるのは質の高い「家庭学習」です。様々なデータの調査・分析から、小学生の学力向上・学習習慣の習得には家庭学習が欠かせないことが判明しています。しかし、いざ実際にやろうとすると下記の項目がハードルになってきます。

- 指導するときに感情的になってしまい、やる気を減少させてしまわないかどうか。
- 「ちゃんと見る」「ちゃんとチェックする」時間を確保できるかどうか。
- 各教科の楽しさを伝えることができるかどうか。
- 各教科の指導の方法は間違っていないか。
- 学力レベル、弱点克服に合致した、適切な教材の選択ができるかどうか。
- 発達段階に応じた学習内容の提供ができるかどうか。
- 昨今の教育/受験情報を踏まえたうえで、指導方針を立てることができるかどうか。

一世代前の時代であれば家庭の中で実施が可能であったことも時代とともに変容し、現代においては相当な力をかけないとクリアすることが難しい現状があります。今回、ご案内をする「ニワトレ」の目的は3つ。1つ目は上記項目のすべてをクリアすること。2つ目は中学生以降につながる学力・教養を育むこと。そして、3つ目は保護者様が安心してお子様を見ることができるよう、私たちがお子様のメンターやコーチになることです。

教育の世界に携わること20年。下は年少から上は浪人生、中学受験～大学受験(医歯薬)の指導だけでなく、自然科学体験をはじめとして様々な教育を実践してきましたが、こと、幼少期・児童期の学習において最も大切なのは「家庭学習」であるという結論にたどり着きました。私が培った知識や経験を実践する『ニワトレ』が、お子様のこれからの成長にお役に立てただければ幸いです。

■ 受講にあたって

ニワトレの授業は「わからない・難しい問題であっても、自分で考え抜く強いメンタル・自立心を身につける」という方針のもと実施しています。したがって、集団授業形式の様に、こちらから教え込むことせず、まずは徹底的に考えさせた上で、順次、ヒントや解説を行っていくスタイルです。ところが、子どもたちの学習タイプには「最初に教え込まれた方が性に合っている場合」もあります。受講開始後、そのような傾向がお子様に見られた場合、保護者様とご相談の上、受講の継続の可否を決定いたしますので、あらかじめご了承ください。また、受講開始にあたって、保護者様のご意向を反映させた指導を現実のお子様の状況と照らし合わせて行っていますが、「算数だけやってほしい」など、1つの教科だけの指導は承ることはできません。1教科だけの集中指導は受験直前であれば効果はありますが、学習に対する姿勢や習慣を身につけなければいけない時期での実施は適切ではないからです。もし、1教科の指導をご希望の場合、個別指導の教室にお通いいただくのを勧めます。※なお、「この単元は集中して指導を行い、苦手を克服した方が良い」とこちらで判断した場合は、1教科を集中して指導することがあります。

■ 授業の流れ

16:30 入室

- ニワトレの宿題チェックを行った後、学校の宿題やニワトレの課題を進めていきます。
- 宿題チェックの際、学校の状況や学習の調子、新たに発生した苦手箇所などのヒアリングを行います。

17:00 トレーニングスタート

- 全員がそろったら、「学習に対する意識を高める話」をします。
- 実施する指導・プリント・演習内容は個々にカスタマイズされており、全員異なります。
- トレーニング中、遊んでいる・ポロっとしているなどの生徒はいません(←私の監視が常に行き届いています)。

17:55 休憩

18:00 トレーニング再開・宿題の指示

- 量より質を重視した宿題を受講生ごとに出していきます。
- 3年生以上は「時事作文」も宿題になります(次回の授業で回収し、添削をして返却します)。

18:15 時事分析

- 「読売子ども新聞」を用いて、時事の解説を行います。
- 「読売子ども新聞」は全員にお渡しします(教材費に含まれています)。

18:30 トレーニング終了

- 宿題は必ずやってきてください。
- 宿題忘れや、適当にやったことは見抜きます。その場合、かなり厳しい追及があるので覚悟してください。

■ 16:30～17:00は、送迎にかかる時間を考慮したフレックスの時間帯になります。17:00までに教室にお越しください。

■ 自習室について

自習室はニワトレが開講されている曜日の同時刻に開放しております。指導はございませんが、私の監視が行き届いているため、静かな環境で集中して行うことができます(質問対応のスタッフを配置いたします)。

また、ニワトレの受講生の方は、ご自宅のパソコンやタブレットで語彙力・読解力のトレーニングができる「読む蔵」のサービスが利用できます(教材費に含まれています)。このトレーニングは、本来なら自宅で行うものですが、なかなか実施できない場合、自習室中で利用できるようにパソコン等も設置しますので、積極的にご利用ください。

■ 要項 (2020年度)

対象	新小1～新小3 ※サイキッズに入会されている方限定
開講曜日	(火) または (金) ※週1回の受講のみ/複数回の受講はできません
時間	16:30～18:30
授業料	4,000円(税抜)
教材費	2,500円(税抜)
設備費	1,000円
その他	ニワトレのみの受講はできません。サイキッズの他コースを受講していることが受講条件になります。

■ 受講をご希望の方は、授業送迎の際に 丹羽(ニワ)までお申し出ください。

※年度内から受講を始めることも可能です。なお、2019年度の受講曜日は(火)(木)になります。予めご了承ください[開講時間は同じです]。
※受講にあたり面談を実施させていただきます。学校のテストや通知表、家庭学習で使われているテキストなど、学習状況がわかるものをお持ちください
※体験授業の設定はございません。

メールでの受講申込も承っております。本文に受講申込希望の旨をご入力いただき、下記メールアドレスまで、ご送信ください。

info@sai-kids.com